

## 研究内容

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学領域における難治性疾患の病態解明と治療法の開発を目的とする基礎研究を行っている。さらに、この基礎研究の成果を医療現場に還元する事を最終目標としたトランスレーショナルリサーチを実践している。

耳科学においては、中耳真珠腫・滲出性中耳炎の病態解明のため、作製した疾患モデル動物を用いて生理学的・分子生物学的な研究を行っている。特に、「中耳真珠腫成因解明」および、手術にて失われた中耳粘膜を再生させるための研究である「温度応答性培養皿を用いた中耳粘膜シートの作製と移植」に力を注いでいる。

鼻科学においては、難治性副鼻腔炎の代表である好酸球性副鼻腔炎の鼻副鼻腔粘膜に発現するタンパク質を網羅的に解析するプロテオミクス研究を行っている。また、国民病とされるスギ花粉症に対するペプチドワクチンの開発中である。鼻疾患と睡眠呼吸障害の関係に関しては、当科の睡眠医療認定医が中心となって精神神経科・呼吸器内科と共同研究を行っている。

頭頸部外科学においては、頭頸部の癌細胞に発現する蛋白のリン酸化解析を行い、このデータを基に新しい分子標的薬の開発を目指した研究を行っている。

内耳発生や平衡機能、音声等の喉頭科学に関しても専門の研究班が生理学的・分子生物学的研究を行っている。

## 研究課題

- ① 中耳真珠腫の成因の解明
- ② 中耳真珠腫上皮の増殖・分化・細胞死および進展機序の解明
- ③ 温度応答性細胞培養皿を用いた中耳粘膜移植用シートの開発とその臨床応用
- ④ マーモセットと用いた難聴解明
- ⑤ 耳石機能が与える抗重力筋への影響と空間式の関係の解析
- ⑥ 遺伝子解析による難治性副鼻腔炎の病態解明
- ⑦ 好酸球性副鼻腔炎の病態解明と治療法の確立
- ⑧ スギ花粉症に対するペプチドワクチンの開発
- ⑨ 内視鏡を用いた鼻副鼻腔経由頭蓋底手術の確立
- ⑩ 鼻疾患が睡眠生理に及ぼす影響の解析
- ⑪ 頭頸部癌発現蛋白のリン酸化と生命予後の関連性についての解析
- ⑫ 分子標的薬を用いた頭頸部癌治療法の確立

## 教育目標

臨床に即応できる実学的な研究活動に必要な研究能力と豊かな学識を有する Academic surgeon を養う

## 到達目標

- ① 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学の臨床上の問題点を抽出することができる。
- ② 研究課題の目的、作業仮説、研究計画を作成することができる。
- ③ 生理学、生化学、分子生物学的実験手法を習得する。
- ④ 研究データの解析に必要な基礎知識、統計学的手法を習得する。
- ⑤ 研究結果を国内外の学会にて討論した上で、英文原著論文作成ができる。

### STAFF

**教授** 小島 博己  
鴻 信義  
飯田 誠  
山本 裕

**講師** 櫻井 結華  
近澤 仁志  
福田 智美  
濱 孝憲  
山本 和央  
森 恵莉

### 問合せ先

小島 博己  
03-3433-1111 (内線3601)